

# けんせつ局報

## 2022年新春号

～ 未来を創ろう ～ みち・水・緑 ～

六義園 「雪吊り」



## 目次

- 一、局長 新年のあいさつ . . . P. 2
- 二、新春特集 . . . P. 6  
各部・各事務所からひと言
- 三、政策連携団体より新年の挨拶 . . . P. 10  
事業を着実に実施し、更なるデジタル化推進の年にします  
公益財団法人 東京都道路整備保全公社
- 四、東京都公園協会から新年のご挨拶 . . . P. 11  
公益財団法人 東京都公園協会
- 五、東京動物園協会から新年のご挨拶 . . . P. 12  
公益財団法人 東京動物園協会



# 謹賀新年

みなさん、新年あけましておめでとうございます。

早朝小笠原で大きな地震がありましたのでひやっとしましたが、幸い大きな被害はないということで、ほっとしているところでございます。6日間の年末年始の休日でしたが、英気を養い、新年を穏やかに迎えられたことと思います。また、この休みの間も、危機管理や正月の開園などで勤務されていたみなさん、大変お疲れさまでした。



【新年挨拶の様子】

さて、昨年を振り返りますと、まず思い浮かぶのは、新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大する中、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されたことです。

局としてもこの数年間、競技会場の整備、周辺施設の維持補修、暑さ対策、バリアフリー化や標識の多言語化といった関連事業、そして大会運営を支援するための職員派遣など、様々な形で大会を支えてきました。1年の延期を経て開催され、成功裏に終わったことは非常に感慨深いものがあります。

また、大会前には、上野動物園初となるパンダの双子の赤ちゃん、シャオシャオとレイレイが生まれました。コロナ禍において、多くの方に喜びや安らぎを与えてくれ、今もその成長を皆が楽しみにしています。

新型コロナウイルスに関しては、昨年緊急事態措置が断続的にあった中で、宿泊療養施設の運営や協力金などの支援業務に加え、ワクチン接種の加速化や医療態勢構築のため、ワクチン接種会場及び酸素・医療提供ステーションの運営を担いました。一部の業務は、現在も続いています。こうした中においても、皆さんの地道な努力、現場の工夫により、局の各事業において多くの成果を上げることができました。

その一部を、けんせつ局報1月号の本庁各部重大ニュースも参考に取り上げますと、道路では、昨年3月に、特定整備路線としては初となる、補助第136号線（関原・梅田）を交通開放しました。10月には、事業開始から30年、東海道新幹線や大崎高校などと立体的に交差する補助第26号線（豊町）が交通開放し、第一京浜と第二京浜が結ばれました。そのほか、調布保谷線西東京区間のうち、暫定2車線となっていた区間の4車線化が完了するなど4路線、橋梁では高浜橋の交通開放がありました。これらにより、交通の円滑化や地域の防災力向上が図られました。

また、7月に、日の出町と青梅市を結ぶ梅ヶ谷トンネルが貫通しました。災害時等にお

いて地域の孤立化を防ぐ重要なトンネルであり、引き続き令和5年度の開通が期待されま  
す。

河川の水害対策としましては、豪雨対策基本方針における対策強化流域に柳瀬川流域を  
追加しました。さらに、善福寺川上流調節池（仮称）など新規調節池を事業化するととも  
に、規模拡大工事を実施してきた野川大沢調節池の取水施設が11月に完成し、新たな目  
標整備水準に対応した調節池として初めて本格稼働を開始しました。

また、12月には、東部低地帯の地震に対する安全性を向上させるため、現行計画に引  
き続く新たな整備計画を策定しました。

加えて、住民の迅速な避難行動に繋がる取組として、都内全14区域における浸水予想  
区域図の改定完了及び浸水リスク検索サービスの提供範囲の拡大、河川監視カメラの設置  
拡大、YouTubeを活用したカメラ映像のライブ動画配信の開始など、ソフト対策の強化も  
着実に進めました。

7月には、国道411号奥多摩町留浦地内において、道路斜面崩落が起これ、この区間  
が通行止めとなりました。この地域の主要道路であることから、地元から早期の交通開放  
が求められましたが、現場における素早い対応のおかげで、被災から10日後には片側交  
互通行により交通開放を行うことができました。

また、本格的な台風シーズンを迎える前の8月に、大島波浮港地区の電柱の抜柱を終え  
ることができました。島しょ地域の無電柱化推進に向け、整備手法を確立するためのモデ  
ル区間でしたが、コスト縮減とともに、整備期間を大幅に短縮するなど、停電・通信障害  
の発生しない島しょ地域の実現に向けたスタートを切ることができました。

外出自粛が長引く中、ゆとりと潤いのある生活を実現するという観点から、都市におけ  
る水と緑の重要性がますます高まった1年でもありました。

そのような中、水辺空間では、6月に隅田川のスーパー堤防「越中島二丁目地区」が完成  
しました。

また、隅田川においては、テラスにおける、より一層のにぎわい創出に向けた利活用方  
策を検証するため、11月に両国など4箇所で「すみだがわオープンテラス」を実施しま  
した。

多摩動物公園では、7月にライオンバスの運行、8月にアジアゾウ舎の観覧が再開され  
ました。ライオンバスは、ライオン園改修工事のため平成28年より運行を休止していま  
したが、感染症対策を行いながら、5年ぶりの再開にこぎつけました。

そのほか、舎人公園には「冒険の丘」、府中の森公園には「もり公園にじいろ広場」が  
オープンしました。ともに障害の有無に関わらず楽しめる施設でもあり、来園される多く  
の方々に癒しや楽しみを与えてくれるものと思います。

また、練馬城址公園の整備計画策定とそれに続く事業着手、明治公園・代々木公園Park  
-PFI事業者の決定など、民間事業者を活用した施設の計画が着実に進み、来年度以降へ  
とつなげていくことができました。

この他にも、数多くの成果があったことと思います。成果が目に見える、やりがいのあ  
る現場を持つ局として、今年も一つ一つ成果を着実に積み重ね、東京を誰もが安心して豊  
かに暮らせる都市として、発展させていきたいと思います。

さて、これからの局事業の展開ですが、東京2020大会を終えた今、大会に向けて磨き上げてきた数々の取組みをレガシーとして発展させ、都民の豊かな生活に繋げていくことが求められます。

加えて、新型コロナのような感染症はいうまでもなく、いつ起こるとも知れない大規模地震や、激甚化する風水害など、いかなる災害からも都民を守る万全の危機管理が非常に



【リモートで実施している様子】

重要です。

こうした認識に立って、今年の局事業は、現在庁内で策定中である「未来の東京」戦略のバージョンアップも見据えた事業を展開していきたいと思えます。

近年、激甚化・頻発化する豪雨に備え、堤防や調節池、水門等の整備を着実に推進するとともに、住民の避難行動につながる水防災情報の更なる発信強化に取り組んでいきましょう。

今後は気候変動により、降雨量の増加や海面上昇、台風の大型化等が見込まれます。将来の状況の変化を見据えて「河川施設のあり方」の検討に取り組むこともお願いします。

全国各地で頻発する大規模な地震等を踏まえ、都道及び区市町村道の無電柱化を加速させ、東京の防災力を向上させるとともに、特定整備路線については、生活再建支援等を強化し、事業効果の早期発現に向け、引き続き粘り強く取り組んでいきましょう。

また、経済活動を支え、都市間競争に打ち勝つために、首都東京の都市活動を支える三環状道路をはじめとする道路ネットワークの形成や、幹線道路の整備、多くの踏切を同時に除却する連続立体交差事業を積極的に進め、ストレスのない快適な道路交通を実現していきましょう。

さらに、新型コロナ危機を契機とした憩いの場としての緑やオープンスペースへのニーズの高まり、ワークスタイルの変化など、社会の変化を見据えることも重要です。道路の面的なバリアフリー化や自転車通行空間の整備、また、民間活力も生かした公園整備等に取り組んでいきましょう。そして、これら都市インフラ施設を、その機能を十分に発揮させ、良好な状態で次世代に継承していくために、予防保全型管理の推進もお願いします。

また、これら事業の実施にあたっては、コロナ禍で急速に発展したデジタル技術をうまく活用し、事業の高度化・効率化を図っていくよう、お願いします。

最後に、「ライフ・ワーク・バランス」についてお話しします。

人口減少社会の下、近い将来、都庁でも人材の確保が困難になると思います。一方で、コロナ禍における「新しい日常」により、働き方・働く環境が大きく変化しました。この変化を良い方向につなげ、仕事と生活を両立し、皆が活躍できるよう、これまで以上にオン・オフをしっかりと分けた、効率のよい業務運営が大切になってきます。管理職の皆さんには、年の初めにあたり、仕事の優先順位やメリハリといったものを強く意識しながら、働きやすい職場環境を作っていただきたいと思います。

世界有数の大都市である東京のインフラを築き、維持管理するという建設局の仕事は、世代を超えて受け継いでいくという持続的な営みです。そうした意味で昨年、新年のあいさつで引用した「牛の歩みも千里」ということわざが似合いますが、今年の干支の虎には「虎は千里を駆ける」という言葉があります。状況の変化にスピード感を持って対応していくことも大切です。

首都東京を誰もが安心して豊かに暮らせる成熟都市へと発展させるために、都民のニーズや社会の変化に柔軟に対応しながら、今年も現場の事務所と本庁、政策連携団体が一丸となって全力で職務に取り組んでいきましょう。

令和4年が皆さんにとって、そして建設局にとって良い年となりますことを心より願ひまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

令和4年1月4日

建設局長 中島 高志

# 謹賀新年

令和四年  
けんせつ局報 新春特集  
各部・各事務所から一言



HAPPY NEW YEAR!!



本年もよろしくお願ひします。  
第一建設事務所新規採用職員一同

謹賀新年



第二建設事務所  
新規採用職員一同

HAPPY NEW YEAR



第三建設事務所新規採用職員一同



何事にも「トライ」の一年に！！  
今年もどうぞよろしくお願ひいたします！

第四建設事務所 新採一同

2022  
今年もよろしく  
お願いします

第五建設事務所  
新採一同

**祝 謹賀新年**

東京都第六建設事務所

2022年もよろしくお願いします。  
新庁舎のように心新たに頑張ります。

六建 新規採用一同

2022  
今年も  
実力オ～で  
がんばります!!

西多摩建設事務所 新規採用職員一同

2022

あけましておめでとうございます  
今年も新しいことにトライ!!

西多摩東部建設事務所  
新規採用職員一同

新年あけましておめでとうございます。  
新庁舎も完成間近です！  
今年もよろしくお願いたします。  
南多摩西部建設事務所 新採職員一同

謹賀新年

新庁舎

※ヘルメットは廃棄するものを使用しています。

HAPPY NEW YEAR 2022

何事にも「トライ」の一年に！  
2022年もよろしくお願いします！  
北多摩南部建設事務所 新規採用職員一同  
(平均年齢28歳)



# 謹賀新年



今年もよろしくお願いいたします

北多摩北部建設事務所  
令和3年度新規採用職員



# 謹賀新年



今年も宜しくお願い致します

土木技術支援・人材育成センター



Happy New Year!! 2022

笑ガオ〜で何事にも  
トライします!

東部公園緑地事務所 新規採用職員一同

HAPPY NEW YEAR!

本年もよろしくお願いいたします!

西部公園緑地事務所 新規採用職員一同

令和4年 謹賀新年

あけましておめでとうございます  
本年もどうぞよろしくお願いいたします  
江東活水事務所  
新規採用職員一同

HAPPY NEW YEAR 2022

本年もよろしくお願いいたします!

総務部

**寅**

**HAPPY NEW YEAR 2022 !!**

本年もよろしくお祈いします。

用地部職員一同

通れない...

SHOP

電柱無くして道すっきり!

福

福

SHOP

今年もよろしくお祈いします。

道路管理部一同

**謹賀新年**

**NO MORE コロナ 2022**

本年もよろしくお祈いいたします。

道路建設部

**寅**

**HAPPY NEW YEAR 2022**

三環状道路整備推進部

新入者  
新機嫌用者一同

今年もよろしくお祈いします

**パンダもトラも**

元気に育成中!  
公園緑地部

**HAPPY NEW YEAR 2022**

**寅**

**2022 謹賀新年**

愛は溢れでも川は溢れさせない!

本年もどうぞよろしくお祈いいたします。

河川部一同



事業を着実に実施し、更なるデジタル化推進の年にします

公益財団法人 東京都道路整備保全公社 総務課長 小林 弘樹

建設局の皆様、あけましておめでとうございます。道路整備保全公社より年頭のご挨拶を申し上げます。

公社は、収益事業で得た収益を活用し、公益目的の道路事業や駐車対策事業を実施するとともに、都事業の受託等により、安全で快適な道路環境の創出や都市機能の維持増進に貢献する公益財団法人です。

ここでは、改めて公社の事業を紹介しながら、近況を報告させていただきます。

1960年（昭和35年）の「都営八重洲駐車場」管理業務の受託開始以降、その規模を拡大し、現在、都営・直営を合わせて約200場（約10,000台分）の駐車場の管理運営を行っております。最近では、精算機のキャッシュレス化やオートバイ駐車場の増設、電気自動車の充電設備拡充など“ゼロエミッション東京”に連動した施策を積極的に推進しています。

また、道路施設については、「新宿副都心西口広場」電気・機械設備管理業務の受託のほか、「新橋地下自動車道」、「環八井荻・練馬トンネル」、「環二築地虎ノ門トンネル」等では24時間・365日、休日・夜間の道路管理に関する連絡先「都道管理連絡室」とともに、安全・安心な道路空間の提供を支えています。

その他の道路事業として、近年、受託規模が拡大する「道路用地取得業務」や加速化が求められる「無電柱化」、専門性が必要な「橋梁の長寿命化」や「工事監督支援」、「土木材料試験」事業等について、求められる役割を着実に果たしていきます。

得られた収益で行っている、道路工事現場等をご案内する「道路見学ツアー」は、昨年12月に実施規模を縮小し、ようやく再開しました。好評につき参加できない方には、「街路樹の見どころ案内」や「かちどき橋の橋脚内バーチャル見学ツアー」等のwebツアーをご覧いただけるよう、公社HPで公開しております。



【公社HPで公開しているバーチャル見学ツアー】

また、道路の愛護等を啓発する「夢のみち」事業は、去年はオンライン配信で開催したほか、都内の時間貸駐車場や満空情報等をネットで無料配信する「s-park」、新宿駅西口広場の活性化事業等についても、引き続き実施して参ります。

一方、公社においてもデジタル化を進めており、無電柱化等の技術講習会のオンライン開催や一部研修のハイブリッド開催（オンライン併用）、土木工事情報共有システムや道路工事の遠隔臨場の試行等を実施しています。次年度には文書管理システムを導入するなど、更なるデジタル化を進め業務の効率化を図るとともに、経営改革プランの目標達成を通じて、皆様のご期待に沿えるよう職員一同頑張ってお参ります。

本年も皆様からのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 東京都公園協会からの新年のご挨拶

公益財産法人 東京都公園協会 総務課長 蔵持 修

建設局の皆様、新年明けましておめでとうございます。東京都公園協会より年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は年初より緊急事態宣言が発令されるなど新型コロナウイルス感染症への対応に追われる1年でした。当協会でもお花見自粛や庭園等の閉鎖などを余儀なくされ、都民の皆様には公園や水辺などを十分にご利用いただけないこともございました。



葛西臨海公園・デザイン花壇

その中であっても、多くの関係者の皆様のご尽力により東京2020大会が無事開催することができたことは明るいニュースでした。コロナ禍の中、残念ながらほとんどの種目が無観客での実施となってしまいました。世界のオリンピック、パラリンピアン達が持てる力を出し切って真剣に競技を行う姿

は、世界中に大きな感動を届けました。当協会が競技場やおもてなしの場を提供するという形で東京大会に貢献できたことは、私たち職員にとって大きな誇りとなりました。



日比谷公園  
オリンピックシンボル花壇

さて、この1年の公園利用を振り返ると、大きなイベントを開催していた公園などでは自粛などの影響で来園者数の減少が目立ったのですが、住宅街などに立地する公園では倍増した場所もありました。外出自粛要請などで行き場を失った人々が、一時のリフレッシュを求めて、近くで開放感のある公園に足を運んだということでしょう。改めて公園という都市インフラの重要性を再認識することとなりました。

コロナ禍の中で公園や水辺をいかに楽しんでもらえるか、私達は創意工夫を重ねてきました。例えば当初は試行錯誤しながら手作り作成していた動画も、今ではドローンを活用したハイクオリティな動画を配信し、花の見頃をオンラインで楽しんでいただいています。夏のじゃぶじゃぶ池は、特に混雑が予想される公園では予約制で運用し、安心して子供達を遊ばせられると利用者から好評をいただきました。



林試の森公園・じゃぶじゃぶ池

昨年、私達は16年ぶりに経営理念を改定するとともに、新たにコーポレートスローガンを決めました。

**「緑と水 まちを豊かに 一尽きない可能性を追い求めます」**

職員一同、この言葉を胸に、コロナ禍においても都民の皆様が緑と水に親しみ、安らぎやゆとりを感じられるよう、精一杯努力してまいります。都民の皆様、建設局の皆様にとって本年が実り多い年となりますことをお祈り申し上げます。



## 東京動物園協会から新年のご挨拶

公益財団法人 東京動物園協会 総務課長 松本 政友

建設局の皆様、新年あけましておめでとうございます。東京動物園協会より年頭のご挨拶を申し上げます。

2021年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、都立動物園・水族園の4園全てが臨時休園によるスタートとなり、長い歴史を持つ当協会にとっても経験したことのない厳しい幕開けとなりました。

その後、6月4日に再開園となりましたが、入場制限や様々なイベントの中止など、動物園・水族園の本来の姿である直接見て、触れて、感じていただくことがなかなか出来ず、もどかしい一年でした。

ただ、こうした中であっても、ウェブサイトやSNSなどの媒体を活用し、動物園・水族園の魅力等を広く発信するとともに、各園が特色を活かした魅力的な展示や様々な取組を行ってまいりました。

上野動物園では、6月23日に当園で初となる雌雄の双子のジャイアントパンダが誕生しました。2頭とも発育は良好で、今月にはお母さんのシンシンとともに皆さんに元気な姿をお披露目できるよう準備を進めております。



【シャオシャオ（後）とレイレイ（前）】

多摩動物公園では、7月にライオンバスの運行を再開いたしました。バスに乗りながら目の前で見れるライオンの姿は圧巻です。また、新しい発着場は、大きなガラス面越しにライオンの放飼場を一望でき迫力満点です。



【ライオンバス】

葛西臨海水族園では、10月10日の水族園の開園記念日に「マグロ 密着24時!!」として、24時間クロマグロの様子をYouTube Liveで生配信しました。飼育現場からの生中継に加えマグロ研究者の特別講義等、様々なプログラムをお届けいたしました。

井の頭自然文化園では、絶滅危惧種ツシマヤマネコの保護と繁殖に取り組んでおり、昨年はオンラインで保全講習会を開催いたしました。また、本年は開園80周年を迎え、1年間を通して様々な周年事業を計画してまいります。

振り返ってみると、昨年はコロナといかに向き合い、事業の在り方そのものを根底から考えさせられた年だったと思います。コロナ禍からの脱却にはまだ時間が必要だと思われませんが、このような時だからこそ、本年は今まで以上に動物園・水族園が明るい話題を提供できるよう、また、多くのお客様に楽しんでいただけるよう、職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。皆様のご来園を心よりお待ちしておりますので、是非、都立動物園・水族園に足を運んでみてください。

新しい年が皆様にとって幸多き年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

# けんせつ局報

2022年1月号



(写真) 葛西臨海水族園



## 1 けんせつ HEADLINE

- ◆ 本庁各部重大ニュース P. 2  
 【総務部・用地部・道路管理部・道路建設部・三環状道路整備推進部・公園緑地部・河川部】
- ◆ 用地部における DX の取組について 【用地部】 P. 14
- ◆ すみだがわオープンテラスを開催しました 【河川部】 P. 15
- ◆ 浸水リスク検索サービス 全 14 区域で提供開始！ 【河川部】 P. 16

## 2 事務所通信

- ◆ 全線開通に向け、環 2 の整備はいよいよ最終段階へ！！ 【第一建設事務所】 P. 17
- ◆ 野川大沢調節池で小学生に対する防災教育を実施しました！【北多摩南部建設事務所】 P. 18
- ◆ 第 14 回「建設局建設技術マイスター制度」指導技術者認定式を開催しました。  
 ～新たに 16 名のマイスターが誕生！～ 【土木技術支援・人材育成センター】 P. 19

## 3 コラム「交差点」

- ◆ スピードスケート競技（ショートトラック）との出会い P. 20  
【第六建設事務所 補修課 課長 長尾 幸久】

## 4 けんせつ information

- ◆ こころの健康相談室から Vol.150 P. 21
- ◆ ココロとカラダのリフレッシュ いやし啓発事例コーナー P. 22  
【南多摩東部建設事務所 用地課 用地担当 安藤 貴信】
- ◆ 東京水辺ラインイベント便のご案内 P. 23
- ◆ 建設局に寄せられた都民の声（11月分） P. 24
- ◆ けんせつ局報の掲載記事を募集しています！ P. 26

## 5 けんせつ日記・編集後記

- ◆ けんせつ日記（12月）・編集後記 P. 27

## 総務部 重大ニュース

### ○ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催（7～9月）

世界的な新型コロナウイルス感染症拡大により、大会史上初の1年延期・無観客での開催となったが、オリンピックでは過去最多と並ぶ205の国・地域、パラリンピックではリオ大会を上回る162の国・地域が参加するなど成功裏に終わった。建設局は、路上競技コースの補修対応や選手村総合診療所事務補助の応援業務など、局内の方々の協力により、安心・安全な大会を支えることができた。

### ○ コロナ対策の支援業務（通年）

建設局では、これまでに宿泊療養施設（東横 INN 東京駅新大橋前、アパホテル山手大塚駅タワー、コンフォートホテル東京東日本橋）、東京都行幸通り地下ワクチン接種センターや酸素・医療提供ステーションの運営業務、「徹底点検 TOKYO サポート」プロジェクトへの職員派遣など、コロナ対策の業務支援を行った。

今後も感染防止対策を徹底し、業務にあたっていく。

### ○ 3D点群データに関するオープンデータの取組方針を策定（6月）

デジタルデータを自由に利活用できるオープンデータの取組を推進し、利活用促進による新たな価値の創出及び地域の課題解決を図るため、3D点群データのオープンデータに関する取組方針を策定した。引き続きデジタルツインの実現に向けてデータの公開を進め、都や国の3D都市モデル（PLATEAU）との連携拡充や官民協働スタイルを構築していく。

### ○ DX推進に向け「一気通貫型モデル」の試行を決定（7月）

建設局が実施する事業におけるDX推進のため、BIM/CIM技術及びICTを活用した「一気通貫型モデル」の試行を決定した。7月に基本方針とモデルを決定し、11月にはBIM/CIM技術を活用した委託業務を行うための必要な事項を定めた実施要領を策定した。

### ○ 受注者提出書類の削減・簡素化及びはんこレス対応を実施（10月）

建設業における働き方改革を推進するため、「建設局受注者等提出書類処理基準・同実施細目」を改定し、書類の提出を不要または簡素化する場合の取扱いを定めた。併せて、各様式における押印の廃止又は省略とする見直しを行った。

### ○ 工事情報共有システムをリニューアル（10月）

受発注者双方が電子的に情報を交換・共有することが可能な工事情報共有システムをリニューアルするとともに「工事情報共有システム活用ガイドライン」「電子納品運用ガイドライン」の改定を行った。今回の改定は、より多くの工事書類を電子決裁可能な仕組みへ変更を行うとともに、電子成果品の作成支援機能強化とオンライン電子納品の運用を開始し、受発注者間の業務の効率化を図っていく。



## 用地部 重大ニュース

### ○ 用地対策連絡会全国協議会及び関東地区用地対策連絡協議会の用地補償業務功労者表彰を受賞（5月）

用地業務担当者の模範となる職務上顕著な功績を収めた者を対象とする用地補償業務功労者表彰があり、建設局からは、4名（全国用対1名、関東用対3名）が受賞された。



【表彰報告時の記念撮影の様子】

### ○ 長年の懸案である大型案件の完了（7月）

国分寺3・4・3および府中3・3・8の病院敷地については、都に強く反発する地権者に対し10年以上にわたり粘り強く折衝を継続したが、平成25年度より機動取得担当に引き継がれていた。その後、歴代の担当者・関係者の努力が結実し、地権者から理解を得て任意契約を締結し、今年7月にはついに更地化された。

### ○ ZOOMを利用した用地部署研修の実施（通年）

新型コロナウイルス感染症の影響により、年間を通した用地取得業務に係る部署研修の集合形式の実施が困難となったが、資料の丁寧な作りこみや内容の検討を重ね、オンライン会議システムZOOMを活用した研修体制を確立させた。これにより、経費節減やペーパーレス化に貢献するとともに、他局・区市町村や事業を受託する鉄道会社などからも多数の職員の参加が可能となった。

### ○ 引継路線における目覚ましい進捗（通年）

機動取得担当が事務所から路線単位で用地取得を引き継ぐ「引継路線」を令和2年度より指定しているが、補144（平井）では用地取得率が100%となり、令和3年度から引継路線となった補26（千早）では困難案件5件を契約するなど、目覚ましい進捗が見られた。

### ○ 特定整備路線全区間において用地取得を推進・一層の推進に向けた取組（通年）

特定整備路線は全区間で用地取得を精力的に実施し、本格的な用地取得開始から7年余りで、全体の用地取得率が約6割となった。補144（平井）では、事務所用地課や本庁機動取得担当などが、関係権利者一人一人へ粘り強く折衝を行ったことにより、平成27年2月24日の事業認可取得後、実質6年間で事業区域内すべての用地取得を完了させた。これまで、民間事業者を活用し移転先選定のサポートや税務手続きの助言等を実施してきた相談窓口については、機能強化に繋がる業者再選定を今年度までに17箇所中12箇所を実施し、用地取得の加速化に繋がる生活再建支援策を強化している。

### ○ 用地部指定案件を着実に解決（通年）

工事につながる事業効果の高い箇所として重点的に取り組み、解決を目指す用地部指定案件のうち、主7武蔵野中央（9月）、西東京3.4.9（I期）（10月）、補54（上祖師谷）（11月）の計3件を契約した。

### ○ 7区間で用地取得を完了（通年）

長年に渡る取組が実を結び、補144（平井）（2月）、厚木沢流路（4月）、東伏見公園（II期）（7月）、東伏見公園（III期）（7月）、空堀川（神明橋～中砂橋）（8月）、都128廻田清水（9月）、都238梅ヶ谷（12月）など計7区間で用地取得を完了した。この中には、事業化から10年以上が経過した事業区間もあり、歴代の担当者の努力が実を結んだものである。

## 道路管理部 重大ニュース

### ○「東京ストリートヒューマン 1st 事業」策定（1月）

平成2年から約30年間、シンボルロード整備事業により道路の修景を進めてきた。近年は、個性的で魅力的なまちづくりが進められており、街並みと調和した道路整備が求められるようになってきたことを踏まえ、新たな事業名のもと、事業計画を策定。

### ○「まん延防止等重点措置」等の実施に伴う道路巡回車による呼びかけ（4月～）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、建設事務所・工区の協力により、道路巡回車搭載の拡声器を活用し、都民に対し外出自粛等の呼びかけを実施。約6カ月という長期間に渡った。さらに、新たな変異種対応のため、年末から年始においても対応する。

### ○「東京都自転車通行空間整備推進計画」策定（5月）

2012年に策定した「東京都自転車走行空間整備推進計画」に続く計画として、自転車通行空間の整備推進計画を策定。

本計画は、整備方針や2040年代の将来像（自転車ネットワーク）を新たに提示するとともに、今後10年間で優先的に整備に取り組む区間などを取りまとめた。

### ○「無電柱化加速化戦略」（2月）等を踏まえ、「東京都無電柱化計画」を改定（6月）

無電柱化施策の強化に向けて打ち出した「無電柱化加速化戦略」を踏まえ、東京都無電柱化推進条例等に基づく「東京都無電柱化計画」を改定し、2040年代に向けた無電柱化の基本的な方針や目標を定めるとともに、今後5か年の整備計画を示した。

### ○首都高 上限料金等の見直しへ（6月）

平成28年に導入された対距離制を基本とする料金体系について、より公平な料金体とするため、令和4年3月以降、上限料金の見直しが実施される。それに伴う首都高の事業の変更にあたり、道路管理者の同意が必要となるため、令和3年第2回定例会で議決された。

### ○行幸通りにおけるワクチン接種センターの占用許可（7月）

福祉保健局の依頼を受け、行幸通り地下通路を新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場として占用許可。これまでの接種回数（12月9日時点）は12万回を超えており、ワクチンの接種率向上に寄与している。

### ○青梅街道（奥多摩町留浦）斜面崩落（7月）

7月18日、奥多摩町留浦地区の斜面が崩落し、青梅街道が一時通行止めになった。地域生活への影響を最小限にとどめるため、迅速な土砂搬出や崩壊斜面の応急措置を行うとともに迂回路となる奥多摩周遊道路の通行時間拡大も行き、7月28日に通行止めを解除した。



【斜面崩落の様子】

○大島町波浮港地区（8月）、大島町差木地地区（10月）で抜柱が完了

島しょ地域の無電柱化推進に向け、島しょ地域ならではの整備手法を確立するため、令和元年10月より大島町波浮港地区の都道（500m）をモデル区間として整備に着手し、本格的な台風シーズンを迎える前の8月に抜柱が完了した。また、大島町差木地地区は10月に抜柱が完了した。



【大島町波浮港地区 整備前】



【大島町波浮港地区 整備後】

○都内で震度5強の地震が発生（10月）

10月7日、足立区で震度5強、大田区、町田市で震度5弱を記録した。平成23年の東日本大震災以来、初めて都内で震度5以上が発生したが、事務所、本庁職員による夜間の緊急参集や緊急点検の実施等、職員が一丸となり、大きな被害や混乱なく対応を終えた。

○「無電柱化の日」イベントの開催（11月）

11月10日（水）の「無電柱化の日」にオンラインイベントを開催し、電柱と電線をテーマとしたフォトコンテストの入賞作品発表と、「無電柱化スピードアップ宣言」をテーマに国土交通省、学識経験者、無電柱化に積極的に取り組む自治体、電気・通信事業者によるパネルディスカッションを行った。



◀テーマ①電柱と電線の存在を意識してみましよう  
（電柱と電線がある風景）  
「富士と電線」



テーマ②無電柱化の効果を実感してみましよう▶  
（電柱と電線のない風景）  
「東京臨海副都心」

【フォトコンテスト 都知事賞 受賞作品】

## 道路建設部 重大ニュース



【高浜橋】

### ○高浜橋が交通開放しました！（2月）

主要地方道日本橋芝浦大森線（第316号）が高浜西運河を渡る高浜橋は、平成27年度より架け替え工事に着手し、令和3年2月に交通開放した。耐震性、耐荷性が強化されるとともに、車道と歩道が広がり、安全性と利便性が向上した。

### ○特定整備路線として初！補助第136号線（関原・梅田）交通開放！（3月）

3月29日、旧日光街道から尾竹橋通りまでの約1.1km区間が交通開放した。これにより、足立区関原・梅田地区における市街地の延焼を防止するとともに、緊急車両の通行路や災害時の避難路として、地域の防災性の向上に大きく貢献した。また、当該地域の東西交通の円滑化も図られた。



【補助第136号線（関原・梅田）】

### ○補助第128号線（桜）交通開放！（3月）

3月20日、桜木中学校の地下をトンネルで抜ける桜区間が交通開放した。これにより、世田谷通りから城山通りまでの交通の円滑化が図られるとともに、生活道路へ流入する通過交通が減少するなど、地域の安全性が向上した。

### ○環状第4号線（港南・高輪）の工事に着手（4月）

本路線の整備により、環状方向の道路ネットワークが形成されるとともに、国際交流拠点形成される品川駅周辺の東西方向の連絡が強化されるなどが期待される。鉄道と国道15号の上空は橋梁構造となっており、4月から橋梁下部工事に着手した。



【環状第4号線(港南・高輪)】



【西東京3・2・6号調布保谷線】

### ○西東京3・2・6号調布保谷線、4車線で交通開放！調布保谷線全線の車道整備が完了（5月）

暫定2車線となっていた保谷第一小学校から埼玉県境までの約1.1kmの区間を5月10日～17日にかけて順次4車線化し、調布保谷線全線の車道整備が完了した。これにより、多摩地域における南北方向の交通のさらなる円滑化が図られた。

○梅ヶ谷トンネルが貫通！（7月）

掘削開始から約2年の歳月を経て、令和3年7月にトンネルが貫通した。ダブルルートの確保による防災性向上のため、今後、トンネル内の舗装工事や設備工事を行い、令和5年度の交通開放を目指し、引き続き事業を進めていく。



【梅ヶ谷トンネル】

○南多摩尾根幹線（尾根幹東）の事業認可を取得し、4車線化未整備区間の全線で事業着手！（7月）

南多摩尾根幹線は、令和2年2月に西側区間で事業認可を取得し、引き続き令和3年7月に東側区間の事業認可を取得した。これにより、すでに事業を進めている唐木田区間と合わせ、4車線化未整備区間の全線で事業着手した。

○主要渋滞箇所である北原交差点周辺の道路整備が進む

西東京3・4・9及び東村山3・4・11号保谷東村山線交通開放！（8月、9月）

8月2日に所沢街道から西東京3・4・20号線までの約700mの区間、9月10日に西東京市と東久留米市の市境付近における約670mの区間について交通開放した。これにより、地域の交通の円滑化や防災性が向上した。

○事業開始から30年、地元待望の補助第26号線（豊町）交通開放！（10月）

10月22日、東海道新幹線や大崎高校などと立体交差する豊町区間が交通開放した。これにより、第一京浜と第二京浜が結ばれ、道路交通の円滑化が図られるとともに、生活道路へ流入する通過交通が減少するなど、地域の安全性や防災性が向上した。



【補助第26号線（豊町）】

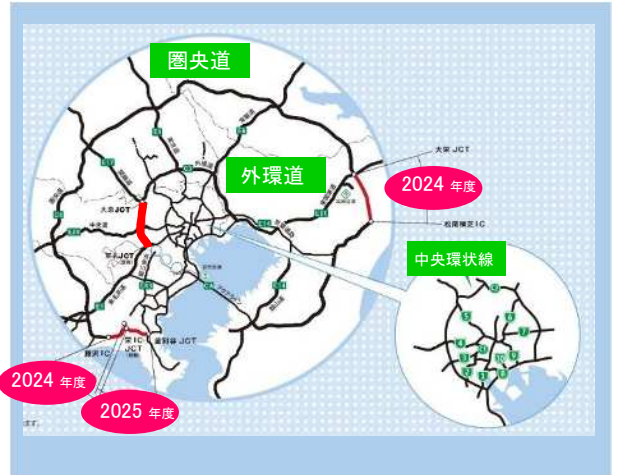
○東武東上本線（大山駅付近）連続立体交差事業認可取得（12月）

本路線は、令和元年12月に都市計画決定され、令和2年2月に用地測量説明会を開催した。本事業により補助第26号線などの8か所の踏切が除却され、踏切での交通渋滞、道路と鉄道それぞれの安全性が向上する。この度、国との詳細設計協議を整え、事業認可を取得し事業に着手した。

## 三環状道路整備推進部 重大ニュース

### ○ 東京外かく環状道路（関越～東名）の事業推進と議会对応（通年）

昨年10月に調布市で発生した陥没事故については、3月に調査結果が取りまとめられ、外環道のシールドトンネル工事が原因とされた。都は、事業者である国交省、高速道路会社に対して、陥没箇所周辺の住民の不安払拭に向け、補償を含めた丁寧な説明やきめ細やかな対応を行うよう要請している。また、都議会においては、昨年引き続き多くの質問が出され、質問通告から答弁までの限られた時間の中、事業者と調整しながら答弁案を作成している。3月に事業認可が10年延伸され、今後も事業者、地元自治体と連携しながら事業を推進する。



【三環状道路整備状況（関東地整資料）】

### ○ 青梅街道 I C の用地（権利）取得推進（通年）

国と都で締結した外環用地事務委託契約により、平成29年度から青梅街道 I C の取得部、区分地上権設定部の権利取得を進めてきた。組織的な事業反対の区間もあるが、国と緊密に連携を図り、測量・用地（権利）取得をより一層推進した。また、都市整備局の外環の2及び練馬区の交通広場といった重複事業のある区間については、事業者間の連携も更に深めていく。

### ○ 三鷹3・4・3（北野三丁目）の用地取得完了（3月）

三鷹3・4・3（北野三丁目区間）は、外環道東八 I C の関連街路として平成25年度に事業認可を取得し、平成26年度から用地取得を開始してきたが、3月に最後の1件であった戸建て住宅の契約を締結し取得が完了した。

### ○ 補助第219号線（北烏山）及び三鷹3・4・3号線（北野一丁目）の事業認可取得（4月）、用地取得開始（5月～）

中央 J C T 関連街路の補助第219号線（北烏山区間）及び三鷹3・4・3号線（北野一丁目区間）については、4月に都市計画事業認可を取得し、その後、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、速やかに、書面配付による用地説明会を5月に開催した。今後も引き続き、地元の方々のご理解ご協力が得られるよう丁寧に折衝等を行い、用地取得を推進していく。

○ 外環の2（石神井台）において事業概要及び測量作業の説明資料を配布（5月）、オープンハウスの開催（10月）

当初、5月に説明会を開催する予定だったが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を踏まえ、書面配布に切り替え、延長約2km、約3,000戸に対してパンフレット等を配布した。また、都市計画変更に至る住民説明の経緯を踏まえ、地域住民の理解と協力が得られるようオープンハウスを補完的に開催予定であったが、度重なる緊急事態宣言の延長により、ようやく10月に開催した。その間、急遽、延期を周知するため、7月の猛暑の中、職員自ら対応するなどの苦労もあった。引き続き、丁寧な対応を行いながら、早期事業化に向けて取り組んでいく。



【オープンハウスの開催状況】

※3日間での来場者 延べ約140人

○ 圏央道 第30回建設促進会議総会を開催（11月）

圏央道は計画区間30.4kmのうち9割弱が既に開通しており、未開通は神奈川県区間と千葉県区間の一部を残すのみとなっている。また、東北道～東関道等の暫定2車線区間についても4車線化が進められている。

圏央道沿線の八都県市及び圏央道建設促進に賛同の81市町村は「首都圏中央連絡自動車道建設促進会議」を組織し、圏央道の早期完成を目指して活動しているが、今年度の総会は新型コロナの影響で、昨年度と同様、書面開催となった。

平成4年度設立の「促進会議」の会長職は八都県市の首長が持ち回りで担当しており、来年度は都知事が五巡目の会長に就任する。当部は代表事務局として八都県市の中心となり圏央道の建設促進に取り組んでいく。

○ 新型コロナウイルス感染症対策に係る業務協力（通年）

宿泊療養施設や大規模ワクチン接種、飲食店の現地確認や営業時間の短縮要請などに関する業務に部一丸となって取り組んだ。三環状道路整備推進部は、職員全体で35人と建設局の中でも小規模な部署であるが、所属する大半の職員が交代でいずれかの業務に従事した。特に、7月末からの大規模ワクチン接種では、事業推進担当課長が局のコアメンバーとして、ワクチンの管理や会場全体の運営に尽力した。

また、8月末からは管理課長が酸素・医療提供ステーションの企画・議会業務のため、福祉保健局に完全兼務となった。約2ヵ月間に渡り、3つのステーションの新設や視察・取材への対応、コロナ特別委等の答弁調整を担当した。管理課長が不在の間は、議会対応やオープンハウスなど部として重要な局面が続いたが、局内各部の協力を得ながら、部全体でカバーし合い乗り越えた。

## 公園緑地部 重大ニュース

### ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組（1月～）

休園していた全ての庭園、動物園等を6月より再開。感染拡大防止のため、事前予約制かつ入園者数の人数制限を行った。「上野動物園混雑マップ」の運用などにより、三密を避けながらより多くの来園者に楽しんでいただくよう施設管理を行っている。

また、公園施設の一時休止や閉鎖、混雑場所の一方通行を行うとともに、公園飲みの自粛要請等注意喚起を実施した。

代々木公園及び井の頭恩賜公園では、東京2020ライブサイトの中止に伴い、ワクチン接種会場が設置された。

瑞江葬儀所では優先枠を設け、新型コロナウイルスで亡くなられたご遺体を積極的に受け入れた。



【混雑マップ】

### ○都市計画練馬城址公園の整備計画策定・事業着手（5月・6月）

4月に開催した東京都公園審議会の答申を受け、5月に整備計画を策定した。としまえん跡地の13ヘクタールにおいて、6月に事業認可を取得し、整備事業に着手した。

### ○都立公園の新規開園（6月）

舎人公園C地区に、「冒険の丘」が6月にオープンした。地域の歴史をモチーフにした遊具や、車椅子でも利用可能な複合遊具などを整備した。

また、高井戸公園においては、昨年の新規開園からちょうど1年となる6月1日に北地区西側の区域（約3.4ha）が追加開園した。同区域には芝生広場や休憩舎、災害用トイレなどが整備され、昨年度開園した東側区域とつながり、広大なオープンスペースが完成した。

### ○双子パンダ誕生（6月）

6月23日に恩賜上野動物園で双子のジャイアントパンダが誕生した。全国から集まったおよそ19万件におよぶ応募の中から名前選考が行われ、10月にシャオシャオ（暁暁）、レイレイ（蕾蕾）と命名された。令和4年1月から一般公開される。



【手前：レイレイ、奥：シャオシャオ】

### ○構造改革（DX）の推進（7月～）

7月より、動物園・水族園において、入園券をオンラインで事前購入できるオンラインチケット販売を開始した。また、10月より、スポーツ施設使用料の窓口での支払いへのキャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー、QRコード）を開始した。

### ○多摩動物公園ライオン園及びアジアゾウ舎オープン（7月・8月）

7月3日に多摩動物公園のライオン園の「ライオンバスステーションと放飼場」がリニューアルオープンした。ライオンの生息地“エチオピア”にある最古の王朝宮殿をモデルにしたバスステーションは、ライオンを知る・体感する情報発信基地でもあり、サバンナをイメージした広い放飼場はライオンが野生に近い状態で生活する人気施設である。



【ライオンバスステーションと放飼場】





【アジアゾウのすむ谷】

多摩動物公園の「アジアゾウのすむ谷」が完成した。メスと子どもは群れ、オスは単独でくらすゾウ本来のくらしができるよう、広い運動場や水浴びのプール、大規模な屋内施設を整備した。また、飼育係が安全にゾウのトレーニングとケアができるエリアの整備や、ゾウの実物大パネル、鼻や歯の模型などの展示も行っている。

### ○都立日比谷公園再生整備計画の策定（7月）

公園審議会の答申を得て、古くて新しい、公園らしい公園づくりを目指し、「東京の『今』を映す“the park” HIBIYA」と銘打った再生整備計画を策定した。日比谷公園開園130周年の2033年度完成を目指した計画である。

### ○都立公園にて東京オリンピック・パラリンピックの競技開催（7月～9月）

武蔵野の森公園が東京2020オリンピック競技大会自転車ロードレースのスタート会場となった。

7月24日男子244km 57か国130人、25日女子147km 40か国67人がゴールの静岡県富士スピードウェイを目指してスタートした。

また、夢の島公園はアーチェリー、潮風公園はビーチバレーの会場となった。



【武蔵野の森公園】



【府中の森公園】

### ○府中の森公園「もり公園にじいる広場」オープン（10月）

だれでも遊べるみんなで遊べるインクルーシブ遊具広場「もり公園にじいる広場」の利用がスタート！

オープン当日は、遊具開放を楽しみにしていた親子連れが集まり開場の時を待った。当日の広場利用者は約3,600人と大変盛況であった。

### ○明治公園・代々木公園 Park-PFI 事業者の決定（11月）

Park-PFI制度を活用し、新たな公園の整備・管理運営を行う事業者を公募により選定した（明治公園：Tokyo Legacy Parks（代表：東京建物株式会社）、代々木公園：代々木公園 STAGES（代表：東急不動産株式会社）。両公園とも令和5年度供用開始予定である。



【明治公園】



【代々木公園】

## 河川部 重大ニュース

### ○ 都の対象河川において河川整備基本方針の策定が完了（3月）

小笠原諸島の父島を流れる二級河川「八ツ瀬川」において、長期的な河川整備の基本方針を定めた「八ツ瀬川河川整備基本方針」を3月に策定。これにより、都が策定することになっている対象河川（二級河川）において、河川整備基本方針の策定が完了。



【八ツ瀬川】

### ○ 浸水予想区域図の改定完了及び

#### 浸水リスク検索サービスの拡充！（3月、12月）

平成27年の水防法改正を踏まえ、想定最大規模の降雨による浸水予想区域図改定を全14区域で完了。区域図の改定を受け、ピンポイントで浸水の深さや継続時間などを簡単に確認できる「浸水リスク検索サービス」の提供範囲を全14区域に拡大。

### ○ 柳瀬川流域を対策強化流域に追加！（4月）

令和元年東日本台風など過去の浸水被害状況等を踏まえ、柳瀬川流域を対策強化流域に追加。今後は、河川整備計画を改定し、時間最大65ミリ降雨に対応するため、柳瀬川や奈良橋川において新たな調節池等の事業化に向けた検討を実施。

### ○ 排水ポンプ車訓練の拡充（6、7月）

水害時などの連携を強化するため、令和2年度に一事務所で行った水防管理団体（区市町村）や地元消防署との連携訓練を、今年度は全事務所に拡充して実施した！



【水防管理団体職員との連携訓練の様子】

### ○ 7月の熱海土砂災害を受け、

#### 盛土総点検結果の取りまとめを実施（8月～12月）

7月の熱海市における土砂災害を踏まえ、国からの依頼である「盛土による災害防止に向けた総点検」に基づき、土地利用の規制等に関する各法令を所管する四局が連携して、8月より盛土の総点検に着手。河川部は四局（建設局、都市整備局、環境局、産業労働局）の取りまとめ部局として、12月に点検結果の暫定取りまとめを行い、プレス発表。

### ○ 二級河川の流域治水プロジェクトを策定！（9月）

都及び関係自治体が連携し、二級河川の「流域治水プロジェクト」を策定。激甚化・頻発化する豪雨に備えるため、あらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」の取組を推進。

○ 防災 DX の推進（9月～11月）

台風時の高潮等による水位変動を AI で予測する水門等操作支援の検討に着手。また、河川管理施設などの膨大なデータを一元管理するシステム構築の検討のため、供用中の2調節池において3次元レーザーキャナー計測等を用い、土木・機械・電気・建築の3次元モデル化（試行）に着手。さらに、海岸保全施設の予防保全型管理において、人工リーフの健全度調査方法に UAV を採用。これらを含め、今後も維持管理の高度化・効率化を目指す。

○ すみだがわオープンテラス実施！（11月）

水辺のオープンスペースとして、隅田川テラスのさまざまな使い方を試行する「すみだがわオープンテラス」を開催。テラス上にテーブルやイスを設置するとともに、キッチンカーやマルシェ等を展開し、多くの方にゆったりとした水辺空間を提供し賑わいを創出した。この結果を踏まえ、隅田川テラスの恒常的な利活用に向けた検討を進めていく。



【越中島公園での開催状況】

○ 新たな整備水準達成に向けた調節池整備の推進（通年）

貯留量を拡大する工事を進めてきた野川大沢調節池では、本年11月に取水施設が完成し、本格稼働を開始。また、昨年度事業化した石神井川上流第一調節池（仮称）について、都市計画決定に向けて、説明会を開催する等取り組みを推進。さらに、今年度、善福寺川上流調節池（仮称）、城北中央公園調節池（二期）の二調節池を新たに事業化。

○ 東部低地帯における堤防・水門等施設の耐震・耐水対策、スーパー堤防整備の推進

及び新たな耐震対策事業計画の策定！（通年）

想定される最大級の地震から東部低地帯を守るため、一建、二建、六建、江東治水事務所が一丸となって全力で耐震・耐水対策事業に取り組み中。また、切れ目なく事業を実施するため、12月には範囲を拡大した新たな計画を策定。

地震に対する安全性と河川環境の向上を図るため、スーパー堤防整備を推進し、今年6月に越中島二丁目地区のスーパー堤防が完成。



【越中島二丁目地区スーパー堤防】

○ 水防災情報の発信強化（通年）

10年に1度の水防災総合情報システム再構築に併せ動画配信環境を構築し、6月より YouTube を活用した河川監視カメラ映像のライブ動画配信を開始。また、監視カメラを40箇所増設し、計78箇所で開催。さらに、水防 Twitter による水防情報の発信様式を工夫し、情報発信のタイムラグを減らし直感的に分かり易い内容へリニューアル！



## 用地部における DX の取組について

用地部

用地部で進めている DX（デジタルトランスフォーメーション）の取組として、部署研修のオンライン化と用地折衝記録の電子化をご紹介します。

### <部署研修のオンライン化>

用地部指導担当では、用地取得業務に係る知識習得のため、集合研修の形で部署研修を実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、集合研修の実施が困難となりましたが、WEB 会議システム ZOOM を活用し、資料の丁寧な作りこみや内容の検討を重ね、オンラインでの研修体制を確立させました。

これまでは会場の都合で人数調整を行わざるを得ませんでした。オンラインでは、局内に限らず、他局の職員や、市区町村、鉄道会社等の用地関連委託先から多数の職員が研修に参加することが可能となりました。

11 月実施の研修では、新たな試みとして、チャット機能を活用したリアルタイムの質問対応やブレイクアウトルーム機能（ミーティングの参加者を小さな部屋に振り分ける機能）を活用したグループワークにも挑戦し、研修生から好評をいただきました。特にグループワークでは他事務所の研修生とも情報交換ができ、非常に有益であったとのご意見をいただきました。

来年度に向けて、研修生の意見等を踏まえ、より良い用地部署研修となるよう検討を行ってまいります。

### <用地折衝記録の電子化>

用地部機動取得担当では、ペーパーレス化によるコピー用紙の使用量削減に加え、データ化によるテレワーク時の情報共有の即時性を向上させるため、令和 3 年 12 月 1 日より用地折衝記録簿の全面的な電子化に取り組んでいます。

折衝記録簿は進行管理や引継ぎ、収用・裁判等における重要な資料ではあるものの、紙の原本がなくとも実務に支障ないこと等から、部内調整は順調に進みました。

一方、より困難な課題ともいえるべき、電子データの改ざん防止については、ドキュワークスの「電子印鑑」機能により、非改ざん性を高めた保存ができました。この取組を継続すると年間で約 1,800 枚の用紙削減が見込まれることから、本格導入につなげていきたいと考えています。テレワーク中でも作成・回覧でき、情報共有の迅速化も図れ、働き方の面でも効果の高い取組であると考えています。今後も、各種業務を見直し、困難案件の着実な執行と新しい時代に即した、よりよい働き方・仕事の進め方への改革を両立してまいります。



【オンライン研修の様子】



【電子印鑑を押印した例】

すみだがわ  
オープンテラス

## すみだがわオープンテラスを開催しました！

(公財) 東京都公園協会・河川部

水辺の“オープン”スペースとして、隅田川テラスのさまざまな使い方を試行するため、「すみだがわオープンテラス」を開催しました(協会主催、河川部後援)。

11月の毎週末を含む延べ10日間にわたり、隅田川沿川の4箇所(両国、越中島、清洲橋、浅草花川戸)にて、沿川のかわてらす設置の飲食店や地域団体等と連携し、テーブルやイスなどでくつろぐことのできる「ゆったりテラス」や、のんびり絵本等を楽しめる「水辺の図書館」、買い物を通して人や地域とのつながりを生む「隅田川マルシェ」などのコンテンツを実施しました。

天候にも恵まれ、期間中、マルシェ等延べ約7,000名の方にテラスをご利用いただき、思い思いの時間を過ごしていただきました。来場者へのアンケートでは、ゆったりテラスのテーブルやイスについて「常時やってほしい」「気候の良い時期だけやってほしい」が全体の8割を超えたほか、「隅田川を眺めながら、飲食や文化を楽しめる」「隅田川に来る機会が増えそうです」など、ご好評をいただきました。

今回の結果を踏まえ、水辺のゆとりや潤いを活かした恒常的な隅田川テラスの利活用に向け、引き続き検討していきます。

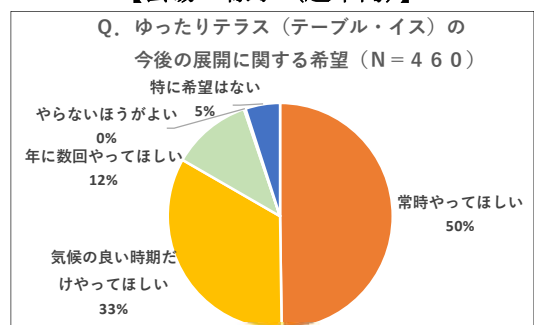
なお、実施に当たっては、建設事務所の河川管理担当をはじめとする関係部署の皆様にご多大なご協力を賜りました。この場を借りて、厚く御礼を申し上げます。

会場	開催日	テラス等利用者数	備考
両国	11月4日(木)～6日(土)	2,757人	水辺の図書館【4,5日】 隅田川マルシェ【6日】
越中島	11月11日(木)～13日(土)	911人	キッチンカー【全日】 水辺の図書館【11,12日】
清洲橋	11月18日(木)～20日(土)	2,224人	水辺の図書館【18,19日】 隅田川マルシェ【20日】
浅草花川戸	11月27日(土)	1,253人	隅田川マルシェ

**【開催概要】**



**【会場の様子(越中島)】**



**【来場者アンケート】**



**【ゆったりテラス(両国)】**



**【隅田川マルシェ(清洲橋)】**



## 浸水リスク検索サービス 全14区域で提供開始!

河川部

都では、平成27年5月の水防法改正を踏まえ、対象降雨を想定し得る最大規模の降雨に変更した浸水予想区域図の改定を進めるとともに、令和2年3月より、浸水リスクをスマートフォン等からでも簡単に検索できる「浸水リスク検索サービス」を提供してきました。この度、隅田川及び新河岸川流域など5区域を追加し、都内全14区域で提供を開始したのでお知らせいたします。

### ○浸水リスク検索サービスとは

#### ■概要

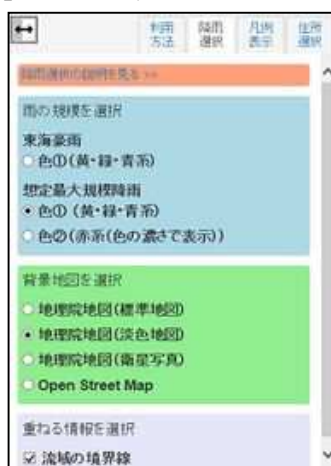
知りたい場所の浸水深等の「浸水リスク」をスマートフォン等を用いて地図や住所（プルダウン 選択）から簡単に検索できるサービス

#### ■機能

- ・地図（下図）は標準地図、航空写真、Open Street Map への切替が可能
- ・調べたい箇所にカーソルを合わせることで、浸水深・地盤高の詳細値に加え、河川の氾濫による浸水継続時間を表示
- ・表示する降雨規模を降雨量の異なる2種類から選択可能  
 （「東海豪雨(114mm/h)」と「想定最大規模降雨(概ね153mm/h程度)」）

#### ■効果

- ・浸水深や浸水継続時間等の浸水リスク情報に基づいた、きめ細やかな避難計画（東京マイ・タイムラインの作成等）の検討に寄与
- ・「建物建築時等の基礎高さのかさ上げ」や「集合住宅や地下鉄等での止水板の設置」などの浸水対策の参考にして頂くことで、水害に強いまちづくりを促進



【機能選択タブ】



【浸水リスク検索サービスメイン画面】

皆さんも是非ご自宅等の「浸水リスク」をご確認いただき、「洪水時の避難計画の立案」や「水害に強い生活様式の工夫」などにお役立てください！

URL: [https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/river/chusho\\_seibi/risk/kensaku.html](https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/river/chusho_seibi/risk/kensaku.html)





## 全線開通に向け、環2の整備はいよいよ最終段階へ！！

第一建設事務所

環状第2号線（以下、「環2」という。）は、江東区有明を起点とし、中央区、港区等を経て千代田区神田佐久間町を終点とする全長約14kmの都市計画道路です。この道路の整備により、臨海部と都心部を結ぶ交通・物流のネットワークが強化される等の整備効果が期待されています。

現在の事業中の「汐留～虎ノ門」及び「晴海～汐留」の各区間は、それぞれ平成15年と19年に事業認可されて以降、数多くの方が様々な立場で携わられてきましたが、約20年という歳月を経て来年度に開通を予定しています。これにより、環2はいよいよ全線での開通を迎えることとなります。

現在、築地虎ノ門トンネルの未開通区間を中心に、土木・建築・電気・機械の計11本の工事が、日々の工程や取り合いを調整しながら整備を進めています。11月と12月には、環2の旧築地市場地区において、東京2020大会時に晴海の選手村と輸送拠点となる築地の車両基地を結ぶ重要な大会ルートだった地上部道路を、工事の進捗に合わせて段階的に切替えました。これにより、切替え前の地上部道路の存在によって整備することの出来なかった取付部擁壁の築造が可能となる等、当該地区の工事は大詰めを迎えます。

また、同地区に存在するトンネル坑口周辺では、環境保全・防災を目的とした築地換気所の整備を進めています。現時点で開通のクリティカルとなっている換気所建築工事は順調に進んでおり、換気所の躯体が概ね完成しました。年度内には、内外装の仕上げを行うとともに、設備工事への引き渡しを予定しています。

引き続き、一日も早い全線開通を目指し、第一建設事務所一丸となり全力で取り組んで参ります。



【旧築地市場地区の坑口部（施工状況）】



【築地虎ノ門トンネル未開通区間（施工状況）】



【旧築地市場地区の様子】



【旧築地市場地区完成イメージ図】



野川大沢調節池で小学生向けの防災教育を支援しました！

北多摩南部建設事務所

北多摩南部建設事務所が事業を進めている野川大沢調節池では、河川整備計画に基づき、貯留量を従前の1.8倍の約16万 $\text{m}^3$ に拡大する工事を平成28年度より実施しており、11月に取水部の越流堤工事が完成し、本格稼働を開始しました。

本調節池は、工事中から地域の皆様の関心が高く、近隣の三鷹市立羽沢小学校からも授業の一環として、水害に関する防災教育の要望があり、令和3年11月4日(木)に本調節池内において、小学4年生3名の児童を対象とした施設見学と水防災に関する説明を実施しました。

当日は、東京都が整備している調節池の役割を説明し、野川大沢調節池がどのように取水、貯留をして、排水するかなどの説明を行いました。児童からは、「東京都の調節池は地下と地上でどちらが多いのか」「東京都には調節池は何箇所あるのか」などたくさんの質問があり、調節池について興味が高い様子でした。

次に野川本川に移動し、この付近に設置している水位計とカメラの役割を説明しました。特にカメラについては、「YouTube」の「東京都水防チャンネル」にてリアルタイムで確認できるので、水位の上昇具合を避難行動の目安にして、早めの避難行動を始めることを伝えました。

児童からは、「実際に調節池を勉強して、水害が起きた時に役立つところだとわかった。」といった感想を頂きました。また、管内の他の自治体からも調節池での水害に対する教育の相談が来ており、このような取組を通じて、河川事業に対する理解を深め、都民の防災意識を高めるきっかけにしていきたいと思えます。



【北南建職員による説明】



【取水部越流堤工事を見学する児童】



【調節池などについて質問する児童】



【北南建職員による水防情報の説明】





第14回「建設局建設技術マイスター制度」指導技術者認定式  
を開催しました。～新たに16名のマイスターが誕生！～  
総務部、土木技術支援・人材育成センター

令和3年12月1日（水）、第14回「建設局建設技術マイスター制度」指導技術者認定式が執り行われました。

今回、全11分野のうち7分野（道路、河川、公園・緑化、測量・調査、地盤・防災、計画・調整・環境、機械設備）の延べ16名の方々が認定され、局内の指導技術者は総勢229名となりました。認定された指導技術者の皆さんには、中島局長より一人ひとりに認定証が授与されました。

中島局長からは「今後は指導技術者として、これまで培ってきた専門的な知識と現場での経験を活かして、より一層後進の指導に努めて頂き、優れた技術力と後進の指導に取り組むという志を持って、さらにご活躍いただくよう期待します。」との激励のお言葉をいただきました。

授与後、認定された指導技術者を代表して道路建設部計画課統括課長代理の小原広さんより、「新型コロナウイルスの影響で業務形態が変化し、これまでのやり方では



【中島局長挨拶】



【代表者挨拶】

うまく伝わりづらくなっていると感じています。後輩の職員に対する技術やノウハウの伝え方を、これまでのものに加え、新たな手法にシフトしていかなければならないと考えます。今後、局技術職員の規範となるよう、さらに精進していきます。」と認定にあたっての抱負などについてご挨拶いただきました。

今後は、局内から寄せられる技術的な相談への助言や、研修講師等を通じて、建設局の技術継承のためにご活躍いただくこととなります。



【認定証授与の様子】



【新指導技術者記念撮影】



## スピードスケート競技（ショートトラック）との出会い

第六建設事務所 補修課長 長尾幸久



【整氷作業中。路面清掃車の氷上版！】

今から遡ること約10年前。子供が小学校に入学して間もなく、地元の市営アイススケート場『アクアリンク千葉』に、家族で遊びに行きました。隣接する清掃工場が発生する熱エネルギーを利用して冷却機を運転する館内は、猛暑の夏でも摂氏6～8℃と寒く、一年中スケートを滑ることができます。陸上では体験できない『氷上を滑る』という不思議な感覚に魅せられ、週末のたびに足繁く通いました。知り合った仲間から滑りの技やコツを教えてもらい、上達の喜びと運動後の爽快感からストレス解消になるので、今ではライフワークのひとつです。4年前の冬季五輪のTV中継で影響を受けた子供と私はスピードスケート部に入り、週1回の夜間練習に参加するので、練習日の業務終了後は急いで帰宅してリンクに向かいます。スピードスケートというと、小平奈緒選手や高木美帆選手が活躍する1周400mトラックが広く知られていますが、私たちが行っているのは『ショートトラック』という競技です。縦60m×横30mのリンク（フィギュアスケート大会規格）内に設けた1周約111mのトラックを、1回の競走で数名の選手が同時に左回りに滑って順位を競います。500mで4周半、1000mは9周など、瞬発力や持久力が必要です。大会出場には、『級』をとる必要があり、最上位の『AAA級（男子）』は500mを42.6秒以内に滑ります。時速換算で約42kmになるので、自動車と同じ速さですね。競技では、これに選手間の駆け引きも加わるので、スピードと展開の速さに圧倒されます。2月の冬季五輪で競技がテレビ中継されるでしょうから、ぜひ一度見てください。楽しいですよ。これからもライフ・ワーク・バランスで頑張ります。



【練習合間のひととき。右が私】

### 六建のある町～北千住～

第六建設事務所は、23区の北東に位置する足立区の『北千住』にあります。『北千住』は奥の細道に登場するかつての宿場町で、荒川区の「南千住」は町名としてありますが、『北千住』という町名は無く、

「千住〇〇町」がいくつか集まった地域を言います。みなさん、知っていましたか？

荒川と隅田川に挟まれた『北千住』。古くはTVドラマ「3年B組金八先生」の舞台となった地域で、事務所から最寄りの荒川の土手に上がれば、今でも景色はそのまま。この世代の方々は懐かしくドラマが思い出されるのではないのでしょうか。

そんな下町『北千住』にある六建で、一緒に仕事をしてみませんか？

お待ちしております。



この景色、見覚えありませんか？



## こころの健康相談室から vol. 150



建設局のみなさん、今年もどうぞよろしくお祈りします。今月ご紹介するのは「期間限定思考」です。

### ● 『いつまでこれが続くんだろう』とは考えなくていい！

苦手な人が職場にいて、明日もあさっても顔を合わせなければならない…。そう思うと「いつまでこれが続くのだろう」「もう職場に行きたくない」そう考えるのはある意味自然なことかもしれませんが、とてもしんどいですよね。なぜなら、人間はいつまで続くかわからない物に対して大きなストレスを感じるからです。

### ● 『期間限定思考』を使ってみよう

そこでおすすめるのが「期間限定思考」です。いつまでなら耐えられるかという期間を算定して「いつまで続くかわからない」という恐怖を取り去ってしまうものです。煮詰まってくると、「今どうすればいいか」ということで頭がいっぱいになり「あとどれだけ頑張れるか」とは考えにくくなります。でも、改めて「いつまでなら頑張れるか」を考えてみるのがとても大事です。ゴールが見えると、人は前へ進みやすくなるからです。

期間限定思考を実践することで心に余裕が生まれて、ストレス対象と距離をほどよく取れるようになるかもしれません。

今、どうすれば良いか…



いつまでなら頑張れるか



仕事の見通し作りに役立ててみるのはいかがでしょうか。このストレスにはこの対処法が効果的だというふうに、いろいろな対処法を試してストレスから自分を助けるための方法を見つけ出してみましよう。

ストレス社会で「考えなくてもいいこと」リスト 井上智介 KADOKAWA 2021

こころの健康相談室

東京都職員共済組合 健康増進課 精神保健担当 都庁第一本庁舎 16階  
外線:03-5320-7757 内線:25-262

宮澤ハニファ

[Hanifa\\_1\\_Miyazawa@member.metro.tokyo.jp](mailto:Hanifa_1_Miyazawa@member.metro.tokyo.jp)

吉田 由紀

[Yuki\\_6\\_Yoshida@member.metro.tokyo.jp](mailto:Yuki_6_Yoshida@member.metro.tokyo.jp)



## ココロとカラダのリフレッシュ ハルビニョールコーナ

南多摩東部建設事務所・用地課の安藤貴信と申します。私がリフレッシュのために行っていることは、ずばり「ランニング」です！！

コロナ禍で自宅にいる時間が長くなり、健康のために何か運動を始めたいと思っている方もいると思います。そんな方にぜひ「ランニング」がオススメです。

学生時代は陸上部（駅伝長距離）で競技に取り組み、社会人になってからもリフレッシュのために休みの日は欠かさず走っています。そんな「ランニング大好き」な私が、このコーナーをきっかけに一人でも多くの方に「ランニングしてみようかな」と思ってもらえるよう、魅力や楽しみ方をご紹介します！！

### 【ランニングの魅力】

ランニングの一番の魅力は成長を実感しやすいところだと思います。タイムという客観的な数値で如実に出るので、前回よりも速く走れるようになった時は成長を実感することができ、達成感がこみ上げてきます。長距離走は特に練習を積み重ねるほど結果に出るのでモチベーションを維持しやすいと感じています。

もう一つの魅力は気軽に始められるところだと思います。大抵のスポーツは専用の道具が必要であったり、行える場所が限られていたりする場合がありますが、ランニングは最低限のウェアと靴があればどこでも行うことができます。ランニングほど始めるためのハードルが低く、非常に気軽に始められるスポーツは他にないと思います。

### 【ランニングの楽しみ方！】

「ランニングしてる時何考えているの？」と聞かれることがあります。質問されて気付いたのですが、ランニング中は特に何も考えていないことがほとんどです。(笑)なので、少し退屈なときもあるので、そんな時はあえてコースを変えて走っています。新しいコースで走ってみると、「こんなところに定食屋さんあったんだ！」など新たな発見があり、とても新鮮な気分になります。走った後はさっき見つけた定食屋に行くぞ！など、ご褒美を設定するのも楽しみ方の一つです。モチベーションも高まり、走った後はお腹が空くので、ご飯もより美味しく食べる事が出来ます。(笑)



【ランニング後のランチ♪】

### ～イベントへの参加～

緊急事態宣言が解除されて以降、ランニングイベントも徐々に開催されるようになりました。ランニングを始めるきっかけとしてぜひ参加してみたいかと思いますが、ゴール後の達成感は日常生活では味わえない非常に大きな喜びがあります。

また、個人でエントリーする大会だけでなく、リレーマラソンなどもあるので、職場の方と一緒に参加してみたいかと思いますが、一緒に汗を流すことで交流を深めることに繋がると思います。

以上、最後までお読みいただきありがとうございました！このコーナーを通して一人でも多くの人にランニングの魅力が伝われば嬉しいです。

(南多摩東部建設事務所 用地課 用地担当 安藤 貴信)



【フィニッシュ後】

★ このコーナーは、ペンリレーで取り組んでいます。次回は、第二建設事務所 用地第二課 用地担当 松岡実雨さんの原稿を掲載させていただく予定です。お楽しみに！

# 東京水辺ラインイベント便のご案内

東京水辺ラインでは、水上バスのクルージングと色々な企画を合わせたイベント便を運航しています。ぜひご参加ください。なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止のため、中止または延期する場合がございますので、ご了承ください。

## 水都江戸探訪 —大川から日本橋川へ(水上バスから小型船に乗り継ぐ)—

江戸庶民の遊び場「隅田川」と、将軍様のお膝元「日本橋川」を水上バスと小型船で巡ります。船内講師は歴史研究家の久染健夫氏。研究に裏打ちされた歴史解説と歯切れのよい口調が人気です。

◆ **日時・行程**：令和4年1月27日(木)・28日(金)  
両国リバーセンター発着場集合(13時45分)⇒水上バス乗船・両国リバーセンター発(14時)～千住大橋手前Uターン～両国リバーセンター着・水上バス下船(15時)⇒小型船に乗り継ぎ・両国第二発着場発(15時15分)～神田川～日本橋川～亀島川～日本橋船着場着(16時45分)＝自由解散

◆ **料金**：大人(中学生以上)：6,200円  
※イベントの性質上、中学生以上のみの募集とさせていただきます。  
※旅行代金の支払い等については下記お問い合わせ先へご確認ください。

◆ **募集人数**：各日40人  
※抽選の場合には、当落に関わらず結果をお知らせいたします。



ひさぞめ たけお  
〈久染健夫 講師〉  
江戸、東京に関する講座、史跡巡りなどの講師を数多く行っている。郷土史研究者。



【乗船コース】

◆ **新型コロナウイルス感染拡大防止対策について**  
船内での食事、飲酒はご遠慮いただいております。  
その他、ご乗船いただくお客様へのお願いがございますので、ご参加前に東京水辺ラインHPをご覧ください。

\*\*\*\*\*

【申込方法等】1/14(金)までに「郵便はがき」(必着)でお申し込みください。  
【お問い合わせ】(公財)東京都公園協会 東京水辺ライン 電話：03-5608-8869  
(9時～17時・月曜定休<祝日の場合は翌日>)

詳細はこちらのHPでご確認ください→ <http://www.tokyo-park.or.jp/waterbus/>

\*\*\*\*\*

## 建設局に寄せられた都民の声（11月分）



### ○受付件数と区分

（単位：件）

提言	意見	苦情	要望	問合せ	相談	その他	合計
3	238	855	917	325	14	18	2,370

### 上記区分の定義

**提言** : 施策の未実施や不十分さ等について、新たな施策の実施や既存の施策の改善策を具体的に提示し、その実施を求めるもの。

**意見** : 施策や職員の行為についての激励・感謝、評論・感想等で、一般的な都政や知事発言等に対する賛否や批判を含むもの。

**苦情** : 施策の実施または未実施等に伴う被害等の不都合や職員の対応への不満を申し立てるもの。また、その是正、補償、陳謝等の救済を求めるもの。

**要望** : 施策の未実施や不十分さ等について改善を求めるもので、改善の方法等について言及されていないか、あるいは抽象的なもの。

**問合せ** : 施設の所在地、事務所の所管部署、施策の内容や手続など知りたい点を明示して尋ねるもの。

**相談** : 困りごとについて判断の指針や助言、またはそのために必要な情報や対話を通じて求めるもの。

**その他** : 都政運営とは直接関係のない事象に関する苦情・要望・提言・意見で、趣旨等不明の訴え等を含むもの。

## ○寄せられた都民の声と対応事例

### ▶（足立区内の都道の植え込みについて）

足立区内の都道について、植え込みの手入れが行き届いており、雑草やごみの撤去も早くて、きれいにしていただいています。気になった箇所を事務所に連絡した際は、早期に対応していただき、ありがとうございました。

### 【対応】

日頃より建設局事業に御理解・御協力いただきありがとうございます。  
また、この度は、御礼の御言葉をお寄せいただき、ありがとうございました。  
今後も、都道の適切な維持管理に努めて参ります。

## 建設局都民の声 HP 掲載場所

建設局 HP の「情報公開ポータル」内で公開しています。



URL <https://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/about/jouhoukoukai-potal/index.html>

## けんせつ局報の掲載記事を募集しています！

### ○ 掲載記事の募集スケジュール

けんせつ局報では、建設局の最新情報記事を募集しています。

日々忙しい中、他部所の情報はなかなか伝わらないもの。そこで、局内情報の共有化を図るため積極的な記事提供をお願いします！！

年度内に各部は6回以上、各所は4回以上のエントリーをしていただいておりますが、これに限らず、**局の仲間**に**知ってほしいトピックス**、**とっておきの風景**、**仕事で嬉しかったこと**、**面白い本**、**旅先での出来事**や**他都市と東京について考えたこと**などなど、写真や簡単なコメントがあればOKです。是非教えてください。

なお、掲載希望のエントリーや記事の提出等は、各部・所広報担当を通して行ってください。

#### 【2022年2月号の募集スケジュール（予定）】

- 12月 13日（月） 掲載希望事項エントリー締切  
(締切後もエントリーの御相談を受付けます)
- 1月 6日（木） 掲載事項決定
- 7日（金） 原稿作成依頼
- 19日（水） 原稿提出締切
- 31日（月） 配信

※各部・所におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策の影響による出勤抑制がかかっている状況ですので、上記期限での対応が難しい場合は個別に御相談ください。エントリー希望には可能な限り沿いたいと考えています。

### ○ バックナンバーの閲覧方法（※建設局職員のみ）

けんせつ局報バックナンバーは、建設ナレッジから閲覧できます。

#### 【ファイル保管場所】

- 「建設ナレッジ（ナレッジサーバ）」
  - 「1 建設ナレッジ」
  - > 「本庁フォルダ」
  - > 「01 総務部」
  - > 「01 総務課」
    - > 「けんせつ局報」

※2003年4月以降のけんせつ局報が御覧いただけます

※ けんせつ局報に関する御意見・御要望等がございましたら、お気軽に広報担当までお寄せください。（広報担当：03-5320-5212 内線：40-024）

※ けんせつ局報は、建設局以外の職員の方々も閲覧できるように、TAIMS 全庁掲示板に掲載しています。



## けんせつ日記（12月）

- 7日（火） 恩賜上野動物園  
ジャイアントパンダ シャンシャンの返還期限の延期
- 9日（木） 都立動物園・水族園からのお知らせ【第12号】  
都立公園運動施設 スクール開設事業者を募集  
事業評価委員会開催のお知らせ  
葛西臨海水族園（仮称）整備等事業をPFI方式により実施
- 10日（金） 双子ジャイアントパンダの公開について
- 15日（水） 東京水辺ライン 1月のイベントクルーズ情報
- 16日（木） ジャイアントパンダ母子の観覧方法について
- 20日（月） 東武鉄道東上本線の連続立体交差事業着手～大山駅付近の8箇所の踏切を除却～  
町田3・3・36号相原鶴間線（高ヶ坂I期）事業着手  
東京都建設局 ICT 活用工事等推進連絡会の開催について
- 21日（火） 日比谷公園大音楽堂の再整備に関するマーケットサウンディング調査結果
- 22日（水） 「多摩川スカイブリッジ」開通について
- 23日（木） 盛り土による災害防止に向けた総点検の暫定取りまとめについて  
東村山3・4・18号及び西東京3・4・26号新小金井久留米線 交通開放について  
都立動物園・水族園からのお知らせ（第13号）
- 24日（金） 東部低地帯の河川施設整備計画（第二期）の策定について  
浸水リスク検索サービスの提供範囲を拡大

## 編集後記

今月号の表紙は、葛西臨海水族園の昼と夜の風景です。先日、葛西臨海水族園の整備等事業をPFI方式（民間資金等の活用による公共施設等の整備方式）により実施することが発表されました。「官」だけでなく、「民」とも連携し、新たな都民サービスの提供がなされるということで、今後どのような創意工夫が発揮されるか楽しみにしております。

そして、月日が経つのは大変早いもので、本号が2021年最後の発行となります。皆様にとって、2021年はどんな1年でしたでしょうか。「〇〇を頑張った」「〇〇にハマった」など、それぞれのお思いがあるのではないのでしょうか（ちなみに私は格闘技にハマりました）。いいことも悪いことも全部含めて、「2021年はこうだったね」と、思い返しながらみんなでしっぽりと飲むお酒の味が今から楽しみです。皆様にとって、2022年が素晴らしい1年となるよう心から願いながら、まずは、2021年大変お疲れ様でした。

そして、本年もけんせつ局報を御覧いただきありがとうございました。建設局事業の「今」について広くお知らせするため、これからも皆様のお力添えをいただきながら発行してまいります。引き続きよろしくお願いたします！（鍵本）